



# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
会長：熊谷 健 副会長：井上 修 幹事：小椋文成 公共イメージ向上委員長：太田明良



2024-2025 国際ロータリーのテーマ  
**ロータリーのマジック**

2024-2025 RI会長  
ステファニー A.  
アーチック  
＜米国ペンシルバニア州＞



第1717回例会 令和6年10月20日(日)

## 地区補助金事業 『未来へとつなげる森林づくり』 於：ますみヶ丘区有林（五社神社周辺）

## POLIO-DAY

- ・日時：令和6年10月20日（日）9：50～
- ・場所：ますみヶ丘公民館・ますみヶ丘区有林
- ・植樹：コナラ150本・ヤマザクラ150本・トチノキ20本
- ・参加者：60名



9：30 ますみヶ丘公民館に集合 ポリオデー／ポリオ根絶に向けての募金活動	11：20 閉会式 ますみヶ丘公民館へ移動
10：00 植林現場（五社神社周辺の森林）へ移動 開会式	11：40 一般参加の皆様へ弁当配布
10：20 植林作業	11：50 ますみヶ丘公民館にて例会



## ●開会式

1. 開会の辞 宮澤豊和ロータリー財団委員長

2. 会長挨拶 熊谷健会長

今日は、「未来へとつなげる森林(もり)づくり」の植樹事業にご参加下さりましてありがとうございます。

今日ご参加いただいた方々は、植樹する森林の所有者である「ますみヶ丘区」の皆さん、伊那西高校インターアクトクラブの皆さん、いーなちゃんソフトボールクラブの皆さんと保護者の皆さん、信州大学農学部  
の支援留学生の皆さん、それから伊那中央ロータリークラブのメンバーと、総勢60名に上ります。

「未来へとつなげる」と題したのは、木を植えるということは、数十年という時を経て、植えた木が  
少しずつ成長し、やがて森になっていく壮大な時間を要する事業であるからです。

今日、皆さんが植える苗木が、立派な木となり森となる日は、皆さんたちはもう成人して大人になって  
いるでしょう。ロータリークラブのおじさんたちは、もうこの世に生きてはいないかも知れません。それでは  
どうして、生きて結果を見られない事業をやるのかというと、それは、皆さんのような若い世代に、自然の  
大切さ、森林整備の大切さを、伝えていかななくてはならないと思っているからです。

今日皆さんの植える苗木は、何十年か先には立派な森となり、酸素を放出し、また水資源として、この地  
域の自然環境保護に重要な役割を担っていくでしょう。そんな壮大な事業に参加するという気持ちで、一本  
一本の苗木を大切に植えていっていただけたらと思います。

これから一時間位の作業になると思いますが、ケガをしないよう気を付けて植えていって下さい。

最後に、植樹の場所を提供していただいた「ますみヶ丘区」の皆さんに感謝申し上げ、挨拶とさせていた  
だきます。

3. ご挨拶 ますみヶ丘区・みんなの里山代表 清水和雄様

4. 委員長趣旨説明 宮澤豊和ロータリー財団委員長

5. 植林道具贈呈式 熊谷会長よりますみヶ丘区・みんなの里山代表 清水様へ

6. 植林作業の説明 平澤照雄会員



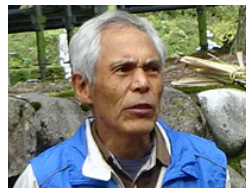
植林道具贈呈式



宮澤豊和  
ロータリー財団委員長



熊谷健会長



ますみヶ丘区・みんなの里山  
代表 清水和雄様



平澤照雄会員

## ●植林作業



## ●閉会式

1. 感想発表 アルプスイ〜なちゃんソフトボールクラブ様  
伊那西高校インターアクトクラブ様
2. ご挨拶 ますみヶ丘区長 三ツ井陽一郎様



アルプスイ〜なちゃん  
ソフトボールクラブ代表



伊那西高校  
インターアクトクラブ代表



ますみヶ丘区長  
三ツ井陽一郎様

3. 閉会の辞 宮澤豊和ロータリー財団委員長

■ 点 鐘 11:50

■ ソング 真実を求めて 平澤理ソングリーダー



## ■ ゲスト・ビジター紹介

・支援留学生 エムディ, バディウル アラム 様



## ■ 会長談話 熊谷健会長



今日は、地区補助金事業「未来へとつなげる森林づくり」にご参加いただき、大変ご苦労様でした。事業も無事終えることができました。

今回、植樹ということで、何を話そうか考えていたところ、昔、私の子供たちがまだ小さかった頃、買って読んであげた「木を植えた男」という絵本を思い出し、当時は、子供達には内容が難しく理解されることはありませんでしたが、何となく私の頭の中に残っていたので、今回この絵本について調べてみました。調べてみると、この絵本は子供のために書いたものではなく、広く大人のため、現在社会に生きている私たちのために書かれたものだと感じましたので、その話を少ししたいと思います。

絵本のあらすじは、1913年、南フランスのプロヴァンス地方の荒れた山脈を旅していた私が、一人の羊飼いの男(アルゼアール・ブッフイエ)と出会います。その男は飲み水を恵んでくれ、宿も貸してくれました。

その男は、不毛の土地に、木を植え続けていました。一人息子を失い、妻も失った男は孤独な生活の中で、あるとき、不毛な大地に生命の種を植え付けることを思い立ったと言います。その日も、不毛な土地にどんぐりの実を植え付けていました。

私は、彼に別れを告げて旅立ちましたが、戦争を経験し疲れた心を癒すために数年後、再び男の元を訪れます。すると、荒涼としていた大地には、何と緑の姿があったのです。男の植えた大地には、埃まみれの疾



風の代わりにそよ風が吹き、やがて人々が住み始め、この地が繁栄し、人々が幸せを享受するようになった。という、言ってみれば何の変哲もない話です。

しかし、この話のどこに感動するのかと言えば、荒れた土地にひたすら何十年も木を植え続け、時には絶望の淵に立たされながらも、荒涼とした大地を蘇らせることに情熱を注いだブッフイエの姿です。

たった一人の男が、その肉体と精神をギリギリに切り詰め、木を植えたことに感動を覚えずにはいられません。

この絵本の原作は、1953年フランス人作家のジャン・ジヨノが書いたフィクションです。カナダのフレデリック・バックという画家が、2万枚の絵を4年半かけて描き、アニメーション映画化されました。世界中で愛読されています。

私たちは、地球環境の保護については、悲観的でセンセーショナルな表現、(例えば「地球が危ない。このままでは未来に美しい地球を残せない。考え方を変えなければならない。」といった表現)に接しがちです。これらの表現は、事実を知り考え方を改める良い機会にはなるでしょう。

一方で、こういったセンセーショナルな情報は、私一人が変わっても無駄だというような虚無感を生み出してしまふ、いわゆる思考停止になってしまう危険も伴います。

「木を植えた男」の原作者ジャン・ジヨノは、こういった悲観的な表現に疑問を投げかけ、一人の人間の行動が、荒れ果てていた山々を緑によみがえらせ、人々の生活を取り戻したというフィクションを通じ、一人ひとりがその気になって行動すれば現状を変えることができるという希望を伝えたかったのではないかと感じました。

■ 幹事報告 **小椋文成幹事** 幹事報告は別紙をご覧ください。



## ■ 委員会報告

・10月14日(月・祝) 留学生と新会員候補者とのカレーパーティーの報告 **伊藤かおりSAA**



10月14日(月) 坂下公会堂にて会員増強委員会主催のもと、新入会員候補者及び留学生とカレーパーティーを開催しました。新入会員候補者であるサンスイさんの小池さん、安井機工の安井さんをお招きし、支援留学生のアラムさん、米山奨学生のアミンさんに協力していただきながら、伊那中央ロータリー奉仕活動の一つである国際交流支援活動を伝える有意義な時間となりました。新入会員候補のお二人も充実した時間を過ごしていただいたと思いますし、入会の可能性も高いと感じました。引き続き、皆さまのご協力をいただき、入会までこぎつけたいと思います。

・10月19日(土) 第34回 暴力追放・地域安全 伊那市民大会の報告 **熊谷健会長**

昨日、10月19日土曜日 午前10時から「第34回 暴力追放・地域安全 伊那市民大会」がニシザワいなっせホールで開催され、参加して参りました。

主催者挨拶、来賓挨拶等のあと、伊那警察署の生活安全課、刑事課、交通課の各課長から情勢報告がありました。

最近、首都圏を中心にいわゆる闇バイトによる強盗致傷事件や強盗殺人事件が勃発していますが、これらの事件を「匿名流動型犯罪グループ」による事件というそうで、警察では、背後に反社会的勢力が潜んでいると見ています。

また、最近の犯罪の傾向として、SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺、SNS型サポート詐欺と、この複合型の犯罪が増加していて、長野県内の今年9月末までの被害総額は12億8000万円に上り、伊那署

管内でも5700万円を超える被害が報告されているそうです。

さらに、ここ1、2カ月程前から南信地方を中心にいわゆるオレオレ詐欺（最近は電話でお金詐欺というそうですが）が増加しているそうです。詐欺の予兆である電話等には気を付けて、不審な点があれば、警察に連絡をいただくようにとのことでした。

交通事故は、今年伊那で2件の死亡事故（6月に美篤で建物に衝突して死亡、9月福島で正面衝突により死亡）が起きていて、増加傾向にあり、警察でも警備を徹底し、キャンペーンを行っているという報告がありました。

#### ■ ニコニコボックス

- ◆熊谷健 今日「未来へとつなげる森林づくり」の植林作業にご参加いただきありがとうございます。盛会に行うことができました。ありがとうございました。
- ◆小椋文成 アラムさん、ようこそお越し下さいました。宮澤委員長はじめ財団委員会の皆様、企画・準備から本日までありがとうございました。
- ◆伊藤かおり 支援留学生アラムさん、今日はお越し頂きありがとうございます。本日は「未来へとつなげる森林づくり」。事業の準備・設営から本日の作業まで、みなさんお疲れ様でした。

#### ■ 出席報告

会員数46名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者19名 事前メイク3名  
出席率55.0% 前回出席率 修正なし

#### ■ 点 鐘

12:30

#### 次回例会

10月29日（火）点鐘／12:30 場所／海老屋料理店  
・クラブフォーラム「米山記念奨学委員会」